

普段の遊びの中で...

対象:2歳児ひまわり組 製作者:友好那美
作成日:9月7日、10日

ねらい:様々な違った素材を使って、感触や遊びの展開を楽しむ。



● 普段から折り紙でお金や財布を作ったり、お店屋さんごっこを中心として遊んでいました。そこに異なる素材のものを使って実際に自分たちで看板や商品づくりをしてみました。綿や花紙、毛糸などの柔らかい素材、絵の具を使って製作をしました。花紙に触れた時は「薄いなあ。」と言って、いざ遊んでみると「びりびりーってしたら楽しいよ。」と子ども達同時で遊び方を伝え合っていました。綿は「ふわふわ~！綿菓子みたい。でも食べれんのよな。」などと感想を伝え合い、食べてはいけない事を確認し合っていました。(言葉による伝え合い・協同性)

● 看板作りでは、色とりどりの絵の具でフィンガーペイントをしました。初めは、そこに用意されていた色そのまま塗っていた子どもたちですが、そのうち指だけでなく手の平全体に塗ってみたいり、絵の具を画用紙の上で混ぜて見たりと様々な展開が見られました。手に付いた絵の具を洗う時、白いハンドソープと手に付いた絵の具が混ざるのを見て「かわいい~！優しい色だねえ。」と言う声が聞こえました。混ぜれば混ぜるほど色のついた泡がたち、お片付けでもとても喜ぶ姿が見られました。(豊かな感性と表現)

これからも、遊びながら色々なことに興味を持って楽しく学んでいける遊びを、子どもたちと一緒に見つけていきたいです。